

フォレストニュース

ボランティア隊 活躍する

8月25日 成田から出発した青年ボランティア隊は、パラグアイの首都アスンシオンに16日に到着しました。今回はディアナ村の学校を中心に植樹をまず行いました。船が岸に到着するとすでに待っていた村の子供達が持って行った荷物を青年達が下ろすのを手伝い、学校まで運んでくれました。

ヴィクトリア校長も河岸で迎えて下さりました。宿舎の学校に到着すると学校の周りにはすでに今回の学校内での植樹のため、新しい金網での塀が造られており、準備が整っていることが感じられました。また、村人の期待も大きく膨れ上がっていることも歓迎集会の準備の状況と集まって来ている村人の数の多さからも感じました。音響のシステムも準備されており、すでに大きな音楽の音がながれていました。

壇上に学校側のスタッフと青年奉仕隊で行った青年達の椅子



が準備されており、持って行ったプレゼントや今回植えるニームの苗がおかれ、大きな旗を正面に掲げて、3時半過ぎに歓迎会が始まりました。

はじめに国歌を斉唱し、その後村の村長さんからの歓迎の挨拶と村の長老によるシャーマンの祈りがありました。そして壇上に置かれていた子供たちへのプレゼントを一人一人の名前を

呼び上げながら壇上に子供達が、日本の青年から受け取り、約135名の子供が受け取りました。一気に会場の雰囲気も家族的になりました。

その後、レダを代表して飯野元理事が今までの青年奉仕隊の活動の経緯と目的、そして何故、2

003年に学校の建設をするようになったかをビクトリア校長の人柄の証しを交えながら話をされました。

話している途中に隣の市、バイアネグラの市長が関係者とともに到着し、飯野元理事の話のあと、市長の歓迎の挨拶がありました。このような活動の素晴らしさ、植樹の活動を次はバイアネグラで行ってほしいとの内容でした。

植樹開始

8月30日の午前中は朝、8時に集まって、校長先生はじめ先生方が集まり、生徒とともに飯野先生が植樹の仕方を丁寧に実践しながら見本を示してくれました。

その後、柴沼元理事が何故、ニームの樹を植えるのかの説明を行った後、5組のチームを作る具体的な植え付けに入りました。校長先生はじめ先生方が各組に生徒とともに参加し、日本から来たメンバーとともにまずは学校内の植樹活動を行いました。

各組が担当地域を決め、熱心に休みなく行き、学校内の植樹は10時前に終了しました。皆、元気で、その後は子供たちとともにサッカーを、バレーボールに興じ、他の青年は大きな栗の樹の下での歌を振り付けしながら子供達と楽しんで昼までの時間を過ごしました。(続きは次号に掲載予定)

お知らせ

*戸石事務局長が9月15日からパラグアイに2週間行きます。

NPO地球の緑を守る会

発行 高津啓洋

〒158-0097

東京都世田谷区用賀4-34-12

グリーンハウスNo.2-231号

電話: 03-5717-9358 FAX: 03-5717-9359

ホームページ: <http://midori.mond.jp/>

E-mail: midorinokainpo@yahoo.co.jp



川から水運び